

平成26年度 第6回 広報公聴委員会 会議録

開催日	平成26年10月1日(水)
会議時間	午前10時00分～午前11時17分
開催場所	佐倉市議会 議会棟2階 第三委員会室
出席委員等	[委員長] 石渡 康郎 [副委員長] 久野 妙子 [委員] 高木 大輔、五十嵐 智美、村田 穰史、小須田 稔、 川名部 実、櫻井 道明、望月 清義
欠席委員等	なし
委員外議員	なし
説明のため出席した者の職氏名	なし
議会事務局	[局長] 関口 直行 [書記] 村上 一郎、室岡 秀樹、矢島 隆成、酒井 理恵子
協議事項	(1) 議会だより(9月定例会号)について (2) 意見交換会について

【決定事項】

(1) 議会だより(9月定例会号)について

- 本日提案したレイアウトに、指摘のあった点を調整し、発行に向けて準備を進める。

(2) 意見交換会について

- 意見交換会の議員の出欠について、会派内で確認し欠席があれば事務局に今週中に報告する。
- グループ分けや各役割分担については正副委員長に一任し、次回の会議で報告する。
- 当日の配布資料については正副委員長と事務局で作成し次回の委員会に提案する。

【主な意見等】

(1) 議会だより(9月定例会号)について

- 1ページの意見交換会のところで「高齢者社会」とあるのは「高齢社会」ではないのか。  
→ 高齢社会に修正する。
- 3ページの議案賛否一覧で、無党派議員の賛否が誤っていないか。→ 確認し訂正する。
- 5ページの主な議案の概要について、議案23～25号、27～30号の契約の関係が掲載されていない。志津公民館の契約という形でまとめれば載せられるのではないのか。  
→ 他の部分を削り、正副委員長に確認して掲載する。
- 6ページのインターネット中継について、「会議の1週間後」に配信とあるが、今回の議会では1週間後に配信されていなかった。  
→ 今回停電の関係で遅くなった。「概ね1週間後」などの表記に訂正する。

(2) 意見交換会の開催概要について

(当日の役割等について)

- 当日のグループごとの役割についても正副委員長が決めるのか。  
→ 正副委員長に一任する。(話し合いでは決まらないと思われる。)
- 広報公聴委員も9名が3グループに3名ずつ均等にわかれるのか。→ そのようになる。
- 前回は全員協議会室に一旦集まったが今回もそのようになるのか。→ その予定である。

- 議員のグループ分けはどのようなになるのか。→基本的には議席番号順とし、広報公聴委員が3グループに分かれるようにする。
- 主催者あいさつは誰がやるのか。→議長になる。
- 開催趣旨の説明は誰がやるのか。→委員長になる。

#### (当日の配布資料等について)

- 意見交換をするきっかけとなる資料として、テーマである「高齢者が安心して暮らす」ための施策に関する資料がよいのではないか。
- 議論する時のマクロの認識を合わせないと各論にばかりになってしまう。誘導するのにどこに焦点を当てるかで資料を整理していかないといけない。特養の方を呼んでいるのであるから介護保険をベースに資料をまとめ、制度開始からの事業費や利用者の推移などの資料を用意してはどうか。
- 高齢者にかかわる医療費負担はこれから増えていくのだから国保に関する資料も出せば出しておいたほうがよい。また民生委員が参加するのであれば、生活保護費に関する資料も出したほうがよいのではないか。
- あまり細かいものではなく将来の見通せるようなもの。文章はあまり入れないほうがよい。(文章だといろいろな価値判断が入ってしまうのであくまでファクトシートのようなイメージで整理し、解釈はそれぞれに任せたほうが有意義な議論になるのではないか。)
- これからは在宅ケアが切実な問題になってくる。今回のメンバーであれば地域包括ケアシステムの道筋がどうなるかも議論になってくると思う。
- 話の持掛け方で展開が変わってくる。何かありますかとやるといろいろな意見が出て収集がつかなくなると思う。
- 民生委員はやり手がないなどの問題、特養では入りたくても入れないという素朴な意見があり真っ先にそのあたりの話になると思う。
- 資料は2枚ぐらいでよい。高齢者福祉課に行けばいろいろなデータがあるのでそこから介護にかかわるもので全体が見渡せるものを選べば大体の絵が描けるのではないか。  
→事務局で高齢者福祉課の資料を探し、正副委員長に見ていただき次回の委員会で提案する。
- 司会者の進め方によっても資料は変わるのではないか。  
→資料はファクトシートとし、それを見て会議を主催する人がその人の判断で使えばよい。
- 人口の推計などは人口ピラミッドなどにしたほうがイメージがわかりやすい。
- 地域包括システムが来年の4月から変わるので、それに関する資料も必要ではないか。  
→国が作った資料しかないがそのイメージ図であれば出せると思う。(ただし佐倉市でどうなるかはまだ決まっていない。)
- せっかくそれぞれの代表者が来てくれるのであるから、全員から話が聞けるようなやり方にしていきたい。

以上のとおり会議要録を作成し、ここに署名する。

委員長 石渡 康郎